

G3 のツイッター その 49

烈剛河内 竹井 保満

5月13日は母の日です。

商業ベースに乗せられた外国から取り入れた風習は日本にも之に替わるものがありますが、母の日に相当する催しはありません。

世界の多くの国では月日こそ違いますが、母に感謝する日があります。

アメリカでは1914年ウィルソン大統領によって母の日が制定されました。それが、戦後日本に渡ってきたもので、借り物の母の日は、母親を尊敬感謝している者にとっては残念な事です。

日本には母の日は本当に皆無かと調べてみました。

有りました、こどもの日です。日本国の国民の祝祭日に関する法律の第2条に、「こどもの人格を重んじ こどもの幸福をはかるとともに 母に感謝すること」と1948年にこどもの日が制定されています。

前にも書きましたが、我々人間の細胞を支配するミトコンドリアは母親のミトコンドリアしか貰えません。父親のミトコンドリアは卵子に遭遇した瞬間に僅かなミトコンドリアは消滅します。母親から受け継いだミトコンドリアが働かなければ我々は一分一秒たりとも生きてはいけません。

3月18日テレビNHKの放送で、人体の秘密第6週、「生命の誕生母と子ミクロの会話」を見て感動しました。一つの卵子が受精すると僅か10か月で心臓から始まり200もの器官を作り出し、完璧な人としてこの世に送り出してくれます。こんな途轍もない作業をお母さんのお腹の中で進められるなんて、神業でも万物の創造主でもできません。今から35億年とも38億年前とも言われていますが、地球上の最初の細菌と言われるシアノバクテリアから人類の発生まで、生き延びる為の努力と進化の賜物だと思います。

親孝行したい時には親はなし、と言いますが遅ればせながら田舎の妹に花代を送り母のお墓に代参を依頼しました。5月5日のこどもの日にお袋さんに感謝、5月13日にはまた母に感謝しましょう。

「八十路すぎ、妻に叱られ 母恋し」新聞の川柳欄で拝見しました。

幾つになってもお袋は最高の人です。

わたしも卒寿、母の歳を越えましたが、折角頂いた命を大事に、大還暦を目標に精進します。